

いないいないばあ

平成 28 年夏号

● 発行元 ●

日本赤十字社富山県支部受託
富山県立乳児院
富山市牛島本町2丁目1番38号
電話 076-432-8137
FAX 076-432-8238

みんなの思い出

8月1日は早朝から雨がザーッと降ったかと思えば、パラパラと小雨が…。実はプール遊びの日だったんです。「お願い！おひさま出てきて！」みんなの祈りが通じたのか、おひさまが顔を出し、プール遊びをすることができました。「エビ！カニ！エビ！カニ！」とエビカニクスで準備体操をして気合も十分。いよいよプール遊びスタートです。テラスいっぱいには大小のプールの他に「洗たくごっこ」「魚すくい」「水鉄砲」など遊びがいっぱい並びました。子どもたちはTシャツ型の布を洗たくものに見立てて小さなバケツでジャブジャブ洗って干し竿に干したり、手作りのペットボトル玩具や水風船にも夢中です。お互いに水をかけあったり自分の頭の水をかけたり歓声が響き渡っていました。キラキラのおひさまに負けないくらい、子どもたちの笑顔が輝いた楽しい時間でした。



七夕まつり

七月七日は七夕でしたね。みなさんは願い事を短冊に綴られたでしょうか？

当院では恒例の七夕まつりを開催しました。子どもたちは一人ひとり織姫・彦星の顔を描いた七夕飾りや短冊を、手伝ってもらいながら完成させ、キラキラした顔で笹に結んでいました。

笹には子どもの健やかな成長を願うものや、子どもたちが書いた紙からはみ出るくらいに、元気いっぱい短冊が結ばれていました。



また、歌をうたったり、親子ふれあい体操やパラバルーンを使った遊びなど、時間を忘れる程にいっぱい遊びました。その日はお昼寝もぐっすりでした。

みなさんでこのような楽しい時間を過ごせたことは、私たち保育者にとってもうれしいことです。みんなの願い事がお星さまに届きますように・・・。



夏の健康管理

夏は、子どもたちにとっては戸外での活動が増える楽しい季節ですが、細菌の活動も活発になり、体調を崩しやすくなるため、病気にかかりやすくなります。ヘルパンギーナに加え、プール熱や手足口病なども夏に多い感染症です。夏を健康に過ごすためには、体力の消耗を避けるために十分な睡眠と規則正しい生活をこころがけましょう。口当たりがよい冷たいアイスやゼリーばかり食べていると、ビタミンやミネラル不足になったり胃腸の働きを弱めることもあります。バランスのよい食事を心がけ

看護師より



9月

これからの行事

うんどうかい

元気いっぱい！
走ったり、ボールを
投げたり頑張りま
す！



10月

秋の遠足

今年の行き先は
どこかな…今から
楽しみです。





心なほの「おひさま」がユリイカにもつた。

4月

- 榎本 千賀さん (東京都)
- 渡部 啓司・恭子さん (愛媛県)
- 水越 有紀さん (東京都)
- 久世 実羽子さん (富山県)
- 中田 渚さん (東京都)
- 鈴木 美穂さん (埼玉県)
- 斉藤 千昌さん (京都府)
- 江口 泰子さん (東京都)

5月

- 田中 純さん (千葉県)
- 宮村 泰子さん (東京都)
- 高塚 美佳さん (東京都)
- 斉藤 千昌さん (京都府)
- 青山 彩香さん (富山県)
- 渡部 啓司・恭子さん (愛媛県)
- 武田 健二さん (千葉県)
- 諸星 和子さん (東京都)
- 栗田 英子 (富山県)
- 患 結愛 (千葉県)
- 高木 瑞穂さん (富山県)
- 山本 かおりさん (東京都)
- 稲吉 庸子さん (東京都)
- 仲井 研一郎さん (富山県)

6月

- 今枝 隆子さん (富山県)
- 前田 幸恵さん (東京都)
- 上野 真由美さん (千葉県)
- 渡部 恭子さん (愛媛県)
- 稲吉 庸子さん (東京都)
- 平野 公孝さん (富山県)
- 西野 裕美さん (愛知県)
- よしだ医院 院長 吉田 誠さん (富山県)
- 山崎 智恵美さん (新潟県)
- 富山トコペット株式会社さん (富山県)



「家庭がはぐくむ笑顔」

富山県では約八十組のご家族が里親登録されています。

日頃知ることのできない里親家庭の子育てや思いを、里親さんの言葉で記していただきました。

●その十一

Aくんという高校生が我が家に来てくれました。

心の中にAくんがなんとなくなくなり、仕事をしながらでもふとAくんのことを考えたりします。生活の中では、一日の時間が大きく変わりました。夫婦二人で暮らしていた頃より朝は早く、夜は遅くなりました。一日が長くなり、たまに『あー、疲れた』と感じることもあります。

でも、Aくんが自分から学校や友達のことなど、その日の出来事を話してくれたり、ごはんをいっしょに食べている時に主人が言った冗談でみんなが笑い転げた時は、日頃の疲れも忘れず、家族になつてきたのかなあと感じます。

子育てに携わってみると、私一人では大変なことばかりだと実感します。主人をはじめ周りの人の力を借りたり、時には話を聞いてもらうだけでホッとすることもあります。

特に里親の子育ては、子どもの成長の途中から関わることになるので、「こんな時どうしたらいいの」と思う事ばかりです。そんな時は児童相談所の担当職員の方や里親支援機

関事務局に相談したり助けってもらったりしています。みなさんとても優しく的確にアドバイスしてくださいます。

様々な事情がありますが、できる限り子どもたちには安心できる家庭、家族のなかで大きくなってもらいたいのです。その経験が将来の力になっていくと思います。これはAくんの暮らしの中からも実感しています。

里親の子育ては時には大変と思う時もありますが、楽しいこと嬉しいことのほうが、いっぱいあります。里親に関心のある方、一歩踏み出してみませんか。



富山県立乳児院病児保育室『おひさま』は体調不良のお子様をお父さんお母さんに代わって、家庭的な雰囲気の中で保育します。

～富山県立乳児院 “病児保育室『おひさま』だより”～



「元気にな～れ!!」

今年の夏「おひさま」には、ヘルパンギーナにかかったお子さんの利用が多くありました。これは夏風邪の一種ですが、突然の39～40℃の高熱やのどの奥に水疱ができて強い痛みを伴います。飲食が困難になる為、脱水症状に注意し、のど越しの良い食事の工夫が大切です。



この時期、残暑が続き体力の消耗から抵抗力が落ちるなど体調を崩しがちです。適切な室温、栄養、睡眠に心掛けましょう。

スタッフ日誌より

- 乳児院のホームページから「おひさま」利用時に必要な書類がダウンロードできるサービスがスタートしました。
- 書類はダウンロードできるので、当院に書類を取りに来られる手間も省け便利です。
- もちろん今まで通り当院でもお渡ししています。

ご利用の際は、ご連絡ください。076-432-8137 ※夜間のため23～5時までは、予約のお電話をご遠慮ください。

●利用時間 7時30分～18時

☆乳児院の理念☆ 児童福祉法及び児童憲章に基づき、安全で安心できる良質な生活の場を提供します。